

- 岩手県の雫石町で行われた「2023火山砂防フォーラム」に参加しました。フォーラムでは、岩手山(活火山)の特性を活かした地域振興策や安全性を高める雫石町の取組などについて、地域外の方の視点も加えたパネルディスカッションなどが実施されました。
- 多治見砂防国道事務所からは、「全国の火山防災の取組事例」として御嶽山の火山防災に関する取組についてポスターセッションで発表しました。
- 現地研修会では、火山防災として施工中の砂防堰堤2基や、岩手山の麓に広がる小岩井農場などの施設を見学しました。

<概要>

■《フォーラム》令和5年10月19日(木)

・ 13:15 開会式典

主催挨拶: 雫石町長(火山砂防フォーラム委員会委員長)

来賓挨拶: 岩手県知事、国土交通省砂防部長

・ 13:40 研究発表

「私たちが考えたイーハトーブ！人が集まり、安全な「岩手山」となるためには」

雫石町立西山小学校6年生児童が、岩手山がもたらせてくれるさまざまな恵みや、火山災害・減災対策などについて学んだうえで、雫石町の活性化のためにアイデアを出し合い、その成果を発表しました。

・ 14:40 ポスターセッション

「全国の火山防災の取組事例」

・ 15:10 パネルディスカッション

「岩手山～安全・安心な地域づくりと地域活性化～」

岩手山の特性を生かした地域振興策や安全性の向上を図る取り組み等について、地域内だけではなく地域外の方の視点も加え、今後の岩手山噴火に備えた警戒意識の醸成等安全・安心な取り組みと地域の活性化を両立させる地域づくりについて意見交換をしました。

・ 16:50 閉会挨拶

■《現地研修会》令和5年10月20日(金)

・ シガクラ砂防堰堤・うさぎ平西沢砂防堰堤・小岩井農場

■感想

岩手山の概要や火山の特徴・歴史に加え、火山がもたらす恵みや地域全体でこれを生かしながら、宮沢賢治や石川啄木などのゆかりの街として活性化しようと取り組んでいること、また、地域外の方々がそれらをどのように感じているのか知る事が出来て勉強になった。

また、いつ起こるか分からない火山噴火に対し、どのような備えが必要か常に意識しながら、産・官・学が連携し地域一体となって取り組んでいる先進的な事例として、今後の参考になると感じた。

<フォーラムの様子>



開会式典



猿子市長挨拶

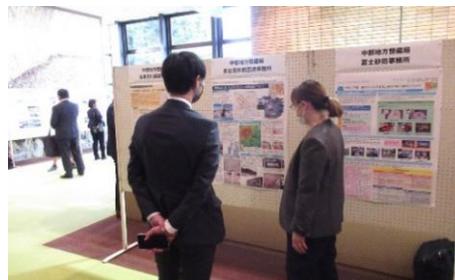


研究発表

(雫石町立西山小学校6年生の児童たち)



パネルディスカッション



ポスターセッション

(御嶽山火山防災の取組を紹介)



現地研修

(シガクラ沢砂防堰堤)